

毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。家族でいっしょに過ごして楽しい団らんを！

ボランティアに参加して感じたこと



2年3組 高田 花怜

私は、友達に誘われたことをきっかけに、このボランティアに参加しました。竹を切るのは固くて難しかったですし、とても重かったです。でも、一緒に活動をしていく地域の方々が手伝ってくれたり、アドバイスをして頂いたりしたので、やり甲斐や楽しさを感じ、「来週も行きたいな」と思いました。それに、今まであまり関わることのない地域の方と話すことで、触れ合いの場にもなり、今思うと、とても貴重な体験だったと思います。本番前のセットの時は、どこが模様になつているのか全然分からなかったけど、休憩中に友達と屋上から見た時は、思っていたよりずっと大きくて自分達であれを作ったんだと思うと、すごく嬉しかったです。本番では、思っていたより多くの人が見に来てくれて楽しそうにしていました。少しだけ、地域に貢献できて良かったなと思います。三年生になった時も、こういう機会があれば、是非、参加したいです。

自分にできること



2年1組 梅影 紗也

コロナの影響で様々な行事が中止になって、地域との関わりがあまりなかった分、少しでも地域との関わりになればいいなと思い、このボランティアに参加しました。はじめは、知らない人ばかりで緊張しました。けれど、活動をしていく内に地域の方と話したり、友達と遊び感覚で作業できたりしたので楽しく積極的に活動できました。短い時間だったけど、「竹灯籠まつり」が行われるまでの裏側を体験して知ることができて、地域の人の思いや苦労があってこそ、様々なイベントや行事が行われているのだなと思いました。今回のボランティア活動を通して地域の関わりをつくるだけでなく、達成感が得られました。自分ができるところをやるだけでも地域の役に立つことはたくさんあると思います。これから、自分から進んでボランティアをして自分のできることをしていきたいです。

やり甲斐のあるボランティア



1年2組 棚橋 歩

僕がボランティアに参加した理由は、小学生の時、ボランティアをしていたので、自分のボランティアをする幅をもっと広げたいと思って、参加したいと思いました。ボランティア活動を通して、地域の方々とたくさん作業をして、大変な力仕事もあつたけれど、親睦を深めることができました。僕は、この一年間、「竹灯籠まつり」のボランティアに多く参加してきたけれど、一番心に残ったボランティアは、最後の、竹灯籠を並べる作業です。これまでの色々な作業で造ってきた、一つ一つの竹灯籠には、思い入れがあつたし、その竹灯籠に、灯がともっているのを、眺めた瞬間、とても感動したし、この感動は、ボランティアをしないと味わえないものだと感じました。

竹灯籠まつりで自分にできること



高垣 乃愛

私たち高校生ボランティアは竹灯籠まつりの準備から携わり、「鷺山の皆さんのために」と心を一つに活動してきました。私たちは通っている高校も違えば、加入している部活動も違います。その為、一度に全員が集まることはありませんでした。しかし、各々が「自分にできることは何か？」と考え、様々なことを行いました。合唱、演劇の披露や、バルーンアート制作、竹灯籠の制作や設置等、各々の個性や長所が存分に発揮されていきました。その結果、たくさん笑顔を見る事ができ、とても嬉しかったです。頑張った良かったと思えた瞬間でした。私たちは竹灯籠まつりを通して様々な事を学びました。だからこそ、これからも鷺山での活動に参加していきたいです。

竹灯籠の景色が忘れられない

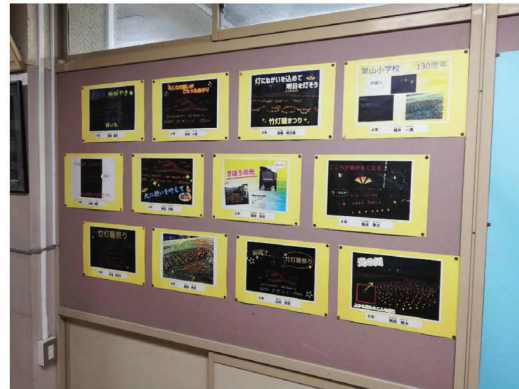


横山 玲奈

鷺山竹灯籠まつりでのボランティアは、とても貴重な体験となりました。今までに参加した夏祭りなどのボランティアでは、必要とされている仕事をそれぞれが担当していくことが多かったのですが、今回は初めての行事という事で一から案を出して、話し合うことが多くありました。夏休みに自己紹介と竹灯籠まつりの中でどんなことをしたいのかという提案から始まり、約4か月間かかりました。参加した高校生は別々の学校に通い、別々の部活に所属しているのですが、それぞれが可能な範囲で活動に参加し当日を迎えました。当日は、地域の方や、青山中学校のボランティアの皆さん、鷺山小学校のインリーダー生と一緒に準備をしました。一緒に活動してきた友達と見た竹灯籠の景色は忘れられないほど綺麗でした。長きにわたるコロナ渦の中でも、地域の皆さんに喜んでもらえる行事ができたこと、そこにボランティアとして関わることができると感謝しています。

**子ども会育成会
インリーダー生が
竹灯籠まつりを取材!
PRポスターを作成!**

令和2年12月12日(土)に鷺山小学校で開催された竹灯籠まつりでは、子ども会育成会 インリーダー生が小学校の授業で使用しているタブレットを活用して、竹灯籠まつりの様子について、取材に挑戦しました。インリーダー生は、斎藤道三公の家紋『二頭立波』を描くために竹灯籠を並べている様子や夜になって竹灯籠が煌々と光っている様子を写真撮影していきま



活用して、後日、竹灯籠まつりの思い出をPRするためのポスターの作成にも挑戦しました。タブレットを使って、写真を加工し、メッセージを掲載して作成されたポスターは、鷺山小学校創立130周年に華を添えました。

竹灯籠まつりでの小学生、中学生、高校生の活躍をご覧ください!



鷺山の資源分別回収は、毎月第3火曜日です。ゴミ減量のため、資源分別回収に御協力ください。